

令和 6 年度海田町学校意識調査の結果

1 回答期間

令和 6 年 11 月 15 日（金）から令和 6 年 11 月 21 日（木）

2 対象者

児童生徒の保護者

3 回答方法

オンライン画面から回答

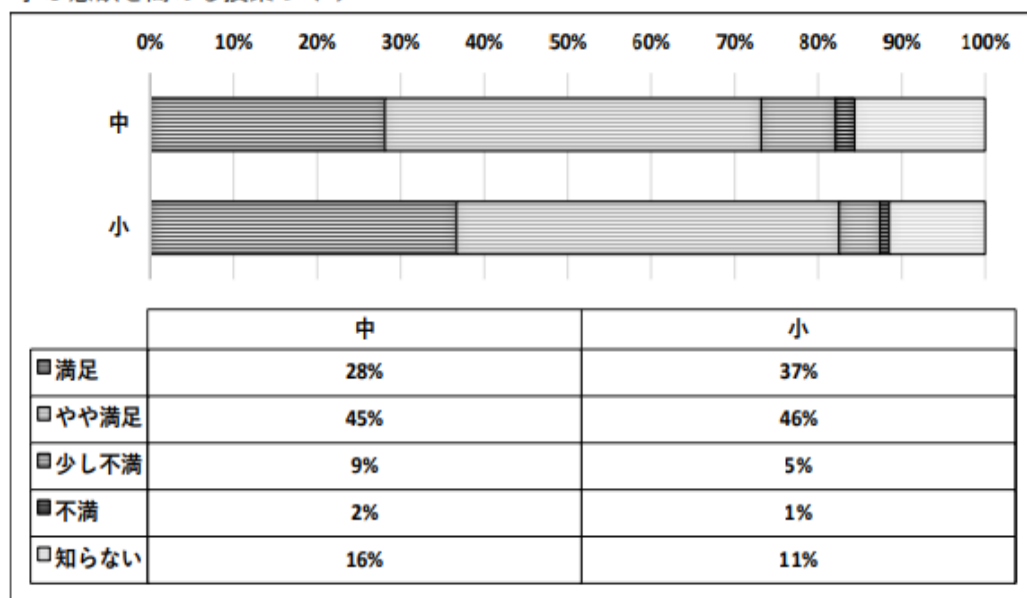
4 回答率

小学校：93% 中学校：93%

「主体的な学び」の実現に向けて！！

児童生徒が変化の激しい社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した「主体的な学び」を実現するために、学習課題や指導方法について、町主催研修や各中学校区で共同して研修を行い、児童生徒が「分かった」「できた」等、ワクワクする授業を目指しています。

学ぶ意欲を高める授業づくり



令和5年度と比較すると、肯定的回答が小学校+3ポイント、中学校は±0です。



■系統性を踏まえた組織的な学習指導の展開

全ての学年で当該指導事項に係る学習指導の充実を図り、螺旋的・反復的に指導するなど、学校全体で組織的に学習指導を行っています。

■個に応じた指導を適切に行うための学習過程等の工夫

児童生徒一人一人の学習状況に応じた指導を行うためには、教師による一斉指導だけではなく、問題解決的な学習過程や学習形態を工夫するなどして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な学習を行っています。



一人ひとりのつまずきを把握し、個別指導を行っています。今後も丁寧な指導を心がけます

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか？

		①当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③どちらかといえば当てはまらない	④当てはまらない
小学校	海田町	57.5	36.7	5.1	0.7
	県	52.0	38.7	7.1	2.1
中学校	海田町	47.0	44.2	6.5	1.8
	県	37.7	48.2	10.5	2.5

R6年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より



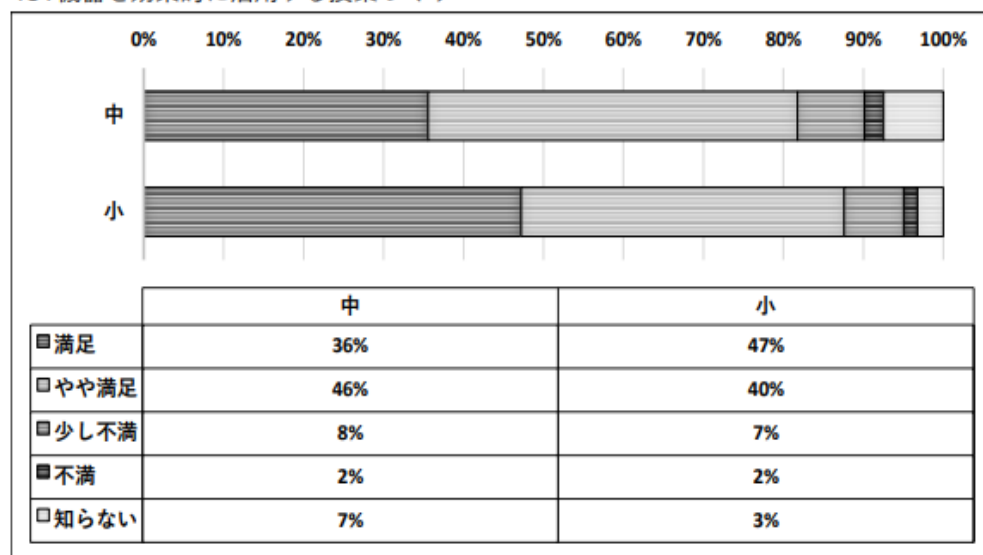
主な町主催研修

- ・「学びの変革」推進協議会
- ・授業力向上研修
- ・道徳教育推進研修
- ・特別支援教育研修
- ・ICT研修

ICT機器を活用した授業づくり

情報及び情報手段を主体的に選択し、活用することができる児童生徒の育成を目指すために、教職員のICT活用指導力向上研修やICT機器を効果的に活用する授業実践を行っています。

ICT機器を効果的に活用する授業づくり



令和5年度と比較すると、肯定的回答が小学校－2ポイント、中学校は＋2です。



指導内容に応じて、適宜ICT機器を適切に活用し、児童生徒の学習の場を広げたり、学習の質を高めたりしています。



観察、実験などを行う際、事実を写真や動画で撮影しています。考察する時に、再度その情報に立ち返りながら、問題解決を行っています。



「自分ならどうするか」という視点で課題と向き合い、自分とは異なる意見をもつ友だちと話し合うことを通して、考えを深めています。

電子黒板の利用率

「3日以上使用している」が小学校は80%、中学校は54%です。画像や動画、アニメーションなどを使って、視覚的に支援することで、学習意欲が高まり、理解が深まっています。

活用に向けて、研修等を行いながら効果的な活用方法を研究していきます。

